

国内での薬用作物生産拡大に向けた行政担当者情報交換会を開催

12月14日(水)、AP東京八重洲会場において、薬産協主催による行政担当者を対象とした情報交換会がハイブリッドで開催された。総参加者数は、60名超と行政による薬用作物の生産化に向けた取り組みに対する関心の高さが伺われた。

本会は、主に農政分野に携わる行政担当者を対象に、先進的な取り組みをしている産地の紹介および意見交換の場を提供することにより、薬用作物の産地化を目指す目的で毎年開催されている。

今回は、下記の2自治体および1法人より、各取り組みについて発表があった。

- ・秋田県美郷町 農政課農業振興班 主査 佐藤 博昭 先生
- ・香川県三豊市 農政部農林水産課地域プロジェクトマネージャー 高島 正彦 先生
- ・新潟県長岡市 認定特定非営利活動法人UNE 代表理事 家老 洋 先生

今回は特に、自治体の農政に関わる方々から、薬樹の森づくりを通して薬用作物栽培に対する地域の理解を得ることにつながったり、実需者や生産者との人間関係作りや研究会の立ち上げにより情報交換の場を増やしたり等、薬用作物栽培への関心を高め、生産者を増やしていくための様々な努力や工夫に取り組んでいる現状について紹介があった。

今回の交換会をもって、今年の薬産協による生薬生産の拡大に向けた一連のイベントは終了した。

今後、薬産協として、より薬用作物への生産意欲を高める説明会を検討、実施する等、各エリアでの情報提供活動をブラッシュアップしつつ、来年は薬用作物栽培に取り組む方々への種苗の供給体制を構築する等、あらたな施策を展開していく予定である。



【会場の様子】



【講師の方々】